

## 全国学校薬剤師合同連絡会議報告書

主 催：日本薬剤師会 日本学校薬剤師会

日 時：平成24年2月29日（水）13時30分～16時50分

場 所：都市センターホテル 3階（コスモスホール）

出席者：山口県薬剤師会専務理事 吉田力久、山口県学校薬剤師会副会長 沖田敏宜  
日本学校薬剤師会監事 西村正広

講 演：

（1）今後の学校薬剤師活動のあり方等について 学校薬剤師への期待

文部科学省 スポーツ・青少年局学校健康教育課

健康教育企画室健康教育調査官 北垣 邦彦先生

飲料水からヒ素が検出された事例や、プール水に古い塩素剤を投入した事例をあげられ、学校薬剤師は、担当校の現状を把握し、適切な指導・助言をお願いしたいと言われた。また、平成24年度から始まる中学校における医薬品に関する教育や薬物乱用防止に関する学校薬剤師の役割を説明され、顔の見える薬剤師を目指して欲しいと締めくくられました。

（2）学校薬剤師活動の現状 学習指導要領等に基づく「くすり教育」

東京薬科大学薬学部教授 薬学教育推進センター長 加藤 哲太先生

平成24年度から始まる中学校における医薬品に関する教育の実例をあげられ、参考になりました。特に「教えて！クスリン」の動画、「カプセル味見実験」「体温で溶ける坐剤」の実験例はインパクトがありました。加藤先生には、平成24年度山口県学校環境衛生研究大会の特別講演をお願いしていますので、挨拶に行きました。当日はもう少しパワーアップした話が出来るとおっしゃると話されました。

報告事項：

学校薬剤師組織の一体化について（報告・説明）

日本薬剤師会常務理事 曾布川 和則先生

一体化のビジョンを話されました。予算を計上しないといけないので、部会負担金の質問が複数県からありましたが、まだ決まっていませんので、ここでは言えませんが返事をされていました。会場から日本学校薬剤師会常務理事の豊見先生が先日の日本学校薬剤師会全国会長連絡会で説明した学校数×800円よりは、高くなりませんと発現され、納得されたようでした。当日配布されていませんが、添付しておきます。

終了後、懇親会が行われ、意見交換が活発に行われました。今後のタイムスケジュールは、3月13日（火）第8回日薬・日学薬担当役員打合会で、学校薬剤師部会の負担金、一体化後の運営、部会則、事業計画などが協議され、3月16日（金）に日本学校薬剤師会総会が開催されます。4月1日に公益社団法人日本薬剤師会の登記が行われ、公益社団法人日本薬剤師会と日本学校薬剤師会が一体化されます。（文責：西村正広）